

2022年8月3日  
日本銀行

## 気候変動に関する取り組み（TCFD提言に基づく情報開示）

令和3年度業務概況書において公表した、日本銀行の業務運営におけるCO<sub>2</sub>排出量およびエネルギー使用量について、令和3年度分を追加したものは、以下のとおりである。

（図表1）日本銀行の業務運営におけるCO<sub>2</sub>排出量

（単位：tCO<sub>2</sub>）

計測項目		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
Scope 1 (直接的な排出量)	都市ガス	2,605	2,642	2,661	2,973	3,123
	重油	341	331	309	341	344
	灯油	670	600	682	578	515
	軽油	235	251	266	261	235
	ガソリン	204	169	144	111	116
	小計	4,056	3,993	4,062	4,265	4,334
Scope 2 (間接的な排出量)	電力	34,880	35,604	29,841	22,732	26,683
	温水	393	400	404	445	440
	冷水	544	500	472	546	452
	小計	35,818	36,504	30,717	23,722	27,576
合計	39,874	40,497	34,779	27,987	31,910	

（注1）集計範囲は、本店、支店、国内事務所。

（注2）地球温暖化対策の推進に関する法律の算定方法に準拠して算出。電力は、各電気事業者の基礎排出係数を使用。

（図表2）日本銀行のエネルギー使用量

	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
エネルギー使用量 (k1)	19,864	19,506	18,995	18,718	18,528
エネルギー消費原単位 (k1/m <sup>2</sup> )	0.0421	0.0413	0.0402	0.0397	0.0393
5年間の平均原単位変化 (%)	▲3.8	▲3.2	▲2.8	▲1.3	▲1.7

（注1）集計範囲は、本店、支店、国内事務所。

（注2）エネルギー使用量の対象は、都市ガス、重油、灯油、電力、温水、冷水。

（注3）エネルギー使用量は、省エネ法の換算係数を乗じて算出した原油換算値。エネルギー消費原単位は、エネルギー使用量を日本銀行の建物の延べ床面積で除して算出。